

みずほCustomer Desk Report 2022/03/30号 (As of 2022/03/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	124.25
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	123.61	1.0992	135.97	1.3101	0.7498
SYD-NY High	124.31	1.1137	137.30	1.3157	0.7519
SYD-NY Low	121.98	1.0969	135.40	1.3052	0.7456
NY 5:00 PM	122.90	1.1086	136.26	1.3095	0.7508

NY DOW	35,294.19	338.30	日本2年債	-0.0300	▲1.00bp
NASDAQ	14,619.64	264.73	日本10年債	0.2500	0.00bp
S&P	4,631.60	56.08	米国2年債	2.3707	3.57bp
日経平均	28,252.42	308.53	米国5年債	2.5009	▲6.16bp
TOPIX	1,991.66	18.29	米国10年債	2.3971	▲6.69bp
シカゴ日経先物	28,380.00	320.00	独10年債	0.6370	5.80bp
ロンドンFT	7,537.25	64.11	英10年債	1.6470	3.20bp
DAX	14,820.33	402.96	豪10年債	2.8890	3.20bp
ハンセン指数	21,927.63	242.66	USDJPY 1M Vol	9.75	▲1.11%
上海総合	3,203.94	▲ 10.56	USDJPY 3M Vol	8.90	▲0.60%
NY金	1,912.20	▲ 27.60	USDJPY 6M Vol	8.58	▲0.43%
WTI	104.24	▲ 1.72	USDJPY 1M 25RR	-0.01	Yen Call Over
CRB指数	294.693	▲4.55	EURJPY 3M Vol	9.83	▲0.93%
ドルインデックス	98.40	▲ 0.69	EURJPY 6M Vol	9.68	▲0.63%

東京	東京時間のドル円は123.61レベルでオープン後、仲値にかけて124.31まで上昇。10時すぎに先日に引き続き日銀が指値オペを通知したものの反応は限定的で、利益確定の動きからドル売りが強まり123.11まで下落。その後123円前半では底堅い推移となり、123.44レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、123.44レベルでオープン。ドル円は方向感なくおよそ50銭の値幅でもみ合い。123.58レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0994レベルでオープン。ウクライナとロシアの停戦協議への期待感からユーロが買い戻された。一時1.1103まで上昇し1.1086レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でドル円は124.31まで戻す局面もあったものの、神田財務官が為替について日米で緊密に意思疎通していると話したこともあり、上値を切り下げ123.58レベルでNYオープン。朝方は、ロシア防衛相が「キエフとヘルニウ付近での軍事活動をやめるための条件を決めている」とのヘッドラインを受け、リスク回避の動きが後退し、原油相場が大幅に下落し、ドル売りも一気に持ち込まれ、10時に発表された米3月消費者信頼感指数が予想を若干上回るものの、前回分が下方修正されたこともあり、ピボットポイントと見られている122.50まで下落する。その後一旦123.03まで戻すものの、上昇していた米金利が下落する中、121.98まで反落する。その後は金利が再び上昇に転じたことからじり高で推移し、122.90レベルでクロスした。一方、ユーロドルはウクライナ側の交渉人が「ロシアと停戦について話し合っている」と話したことから、リスク回避のドル買いが後退し、その後も前述の防衛相の発言を受け更にドルが売られ、1.1103まで戻し、1.1086レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ短期的なレジスタンスと見られていた1.1120を抜け、1.1137まで戻す。その後は低下していた米金利が上昇する動きに1.1090まで反落する。午後は、1.1080付近での方向感の無い推移が続き、1.1086レベルでクロスした。

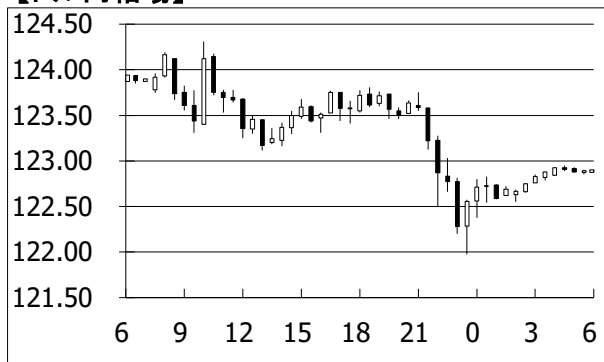
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月29日	08:30	日 失業率	2月 2.7%	2.8%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	3月 107.2	107

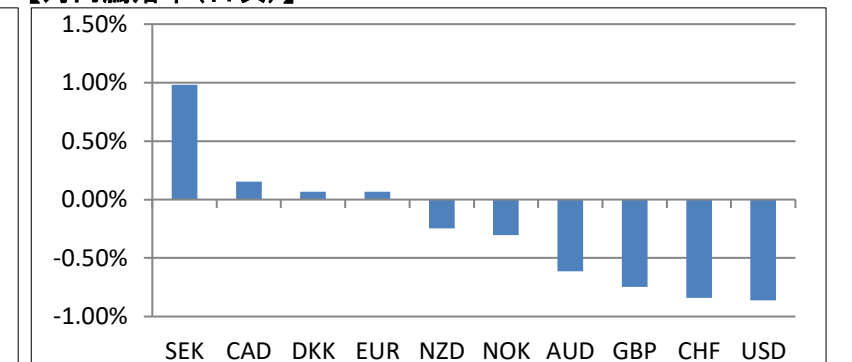
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月30日	10:30	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	17:10	英 ブロードベントBOE副総裁 講演	-	-
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	3月 8.9	14
	18:00	欧 サービス業/消費者 信頼感指数	3月 10/-	13/-18.7
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 1.6%/6.2%	0.9%/5.1%
	21:15	米 ADP雇用統計	3月 450k	475k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q T 7.0%	7.0%
	21:30	米 個人消費	4Q T 3.1%	3.1%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	4Q T 5.0%	5.0%
	22:15	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	122.50-124.00	1.100-1.120	135.50-137.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は仲値にかけて買い優勢となり、高値となる124.31まで上昇するも、その後は一転、利益確定売り等から下落し123円台前半で海外時間に渡った。海外時間に入り、ロシア・ウクライナの停戦への前向きなヘッドラインを受け、原油相場が急落すると、ドル売りの展開となりドル円も121.98を付けた。その後は金利の低下が一服したことを背景にドル円も反発し122円台後半でクローズした。本日のドル円は底堅い推移を予想する。昨日のドル円は125円台まで急速に上昇した分をウクライナ停戦の報道や原油相場の急落を背景に一時的な調整が入った。ただ、基本的には日米金融政策の違いによる日米金利差がドル円の上昇材料となる。加えて、昨日発表された米2月JOLTS求人件数が予想を上回る堅調な数字となっており、本日発表のADP、1日(金)の雇用統計でも労働市場の需給逼迫が確認されれば、FRBによる金融引き締めとドル買いを後押しする材料となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小林